

害、こうした災害を経験するたびに防災対策や対応の重要さを思い知らされます。

数年のうちに来るであろうと言われている東海地震を考えると不安にもなりますが、行政による支援《公助》も限界があり、自分の命は自分で守る《自助》、自分の地域は皆で守る《共助》が重要だと再認識しています。

高齢化が進み、一人住まいの方も多くなった昨今ではありますが、自主防災組織や地域住民が力を合わせ、支え合い、助け合える町会を目指しています。



防災視察研修（鍋二町会）

にぎわい

連帯感生む

八雲神社祭礼

② 本町中央町会

会長 古谷 明善

本町中央町会は、福生駅西口の駅前通りを中心とした商業地域にあります。福生市の商業中心地であるとはいえ、現状は市内全32町会の中でも会員世帯数は90と一番小さな町会ですが、大人と子ども、互いが支え合い、一つの伝統文化行事を楽しみながら行っています。

今回ご紹介させて頂く行事は、一年の中でも最大の手間と予算を掛けた「八雲神社祭礼」（お神輿の祭り）です。この行事は、七月最終の土曜と日曜日に開催されます。お祭りの見どころと言えば町会にある西口駅前ロータリーを交通規制して行われる、山車と神輿が集結しての迫力満点な競合いです。



お神輿（本町中央町会）

このお祭り一つに集中して準備に取り掛かれると思います。しかし当町会は、更にもう一つ別の、四日間も続く大きなイベントが翌週に控えており、特に商店やテナントさん会員の悩みのタネとなっていました。

そこで町会と商店街で相談した結果、お祭りの準備を商店街の事務所の会議室でやって貰い、ついでに地域の子ども達も巻き込んで、七夕飾り制作のお手伝いや体験もして貰うのはどうだろうかという事になり、さっそく神酒所の飾りなどのお祭りの準備の傍ら、七夕飾り制作の体験が始まる事になりました。結果は大成功で、その経験は子ども達にとっても、夏休みの貴重な体験となると共に、地域の文化継承にも繋がります。町会に連帯感が生まれる事となりました。こ

永田はやし連など子どもから大人までが集まる団体もありますが、永田町会では、これら団体の協力により様々な事業が行われています。例えば、盆踊りの屋台では、永遠の会は焼きそば・永和会はヨーヨー釣り・永楽会は金魚すくいなど、それぞれが盆踊りに彩りを添えてくれます。全世帯に配

にぎわい

協力の和

③ 永田町会

会長 細谷 満広

の様に、神輿のお祭りは、たったの二日間ですけれども、町会や商店街の方や、地域の子ども達が2ヶ月前から少しずつ支え合う場所作りをする事で、支え合って生きている事を再認識出来ています。

永友会・永和会・永楽会・永志会・永陸会。これらは、永田町会でそれぞれの年代ごとに集まる有志の会（設立順）です。年齢と共に発展解消した会もありますが、一番若い永陸会は、平成31年に設立された20代後半の若者が集まる会です。また、女性だけで組織する永遠の会もあります。